

2024年度（令和6年度） 学校関係者評価委員会報告書

学校法人駿河台学園 駿台観光アンド外語ビジネス専門学校は、学校関係者評価委員会を下記の通り実施しましたので報告いたします。

令和6年9月10日

学校法人駿河台学園

駿台観光アンド外語ビジネス専門学校

校長 豊田 基行

1. 実施日時

令和6年8月23日(金) 15:00～17:00

各委員へ学校自己評価報告書を事前配付・評価をしていただき、議論いたしました。

2. 学校関係者評価委員（五十音順）

草島 葉子（学校法人興國学園理事長 興國高等学校校長）

菅田 智裕（CKTS株式会社 執行役員）

中岡 義久（学校法人西大和学園 大和大学 英語教育センター長
政治経済学部グローバルビジネス学科長）

町口 俊祐（帝国ホテル大阪 営業部営業課 副支配人）

毛利 裕明（阪急電鉄株式会社 執行役員 都市交通事業副本部長）

3. 学校側出席者

豊田 基行（校長）

花尻 昌直（教務部 部長代理）

寺本 佳弘（教務部 次長）

高田 英典（教務部 課長）

木下 猛（教務部 課長）

瀬川 好美（教務部 課長代理）

4. 議事報告（評価対象期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日）

項目	委員からの評価・意見と今後の取り組みについて
【基準1】 教育理念・目的・育成人材像	適切(100%) 学校の教育理念・目的等について、学生には年度当初のオリエンテーション、保護者には6月保護者会を新規行事として実施、周知しました。各委員から全体的に「適切」の評価をいただきました。
【基準2】 学校運営	適切(75%)・ほぼ適切(25%) ①経費節減を進めるとともにリカレント教育（教養講座）を駿台予備学校のOB・OGを対象として実施し好評でした。②対外向けDX人材育成事業は厳しく見直しを含めて課題となったが、そのノウハウを活かして将来的に留学生に対する（文科系）DX人材養成コース設置をめざしたい。③人事評価システム「カオナビ」を導入し、複数人の評価者によるチェック体制で透明性を高めました。④グループ校が2024年9月に通信制サポート校として駿台i高等学院を開校し、専門学校グループとして全面協力

	<p>します。各委員からは「課題、改善方策を認識し取り組みを進めてください」「DX時代の進化が早急に求められている」とのご意見をいただきました。各企業では業務の効率化、大学、高等学校ではすでに導入されている「出願の電子化」など、本校においても内部的DXに向けた取り組みを検討したいと思います。</p>
<p>【基準3】 教育活動</p>	<p>適切(75%)・ほぼ適切(25%)</p> <p>①目標設定は、TOEICスコア、資格試験のレベル級をシラバスに記載し、第1回目の授業ガイダンスにおいて学生に伝えています。②教育機関との単位互換は、特に規程を設けていないが柔軟に対応するに留まっています。2024年度には韓国の大学と交換留学を予定しており単位互換を柔軟に対応する予定です。委員からは「単位取得の柔軟性は大切である」との評価をいただきました。また、「入学時からの学修成果（スコアアップ）などで単位評価をしてはどうか」とのご意見について、学生の励みにもなりますので、次年度単位取得認定基準に取り入れたいと考えます。</p>
<p>【基準4】 学修成果</p>	<p>適切(100%)</p> <p>就職希望者の就職率は100%でしたが、全体的に学生の主体性がやや低く、自ら行動するという積極性がほしいところでした。資格取得について、「サービス接遇検定」を実施されている公益財団法人実務技能検定協会から「団体優秀賞」を受賞しました。留学生の教育内容においては、「日本留学 AWARDS 西日本地区専門学校（社会・文化系部門）」で3年連続入賞など各種実績をホームページに掲載しています。委員から「実績の“見える化”に工夫が一層求められる」とのご意見をいただきました。ホームページに上品に掲載するだけでなく、SNSやTikTokなどでインパクトのある見せ方でアピールをして学生募集につなげたいと思います。</p>
<p>【基準5】 学生支援</p>	<p>適切(25%)・ほぼ適切(75%)</p> <p>「ホームページに駿台あんしんサイト（仮称）の立ち上げ」「学園を支えるネットワーク作りは重要な課題です」「万一、就職した企業とのミスマッチが起こった際の再就職支援などの窓口があれば、学生はより安心感が生まれると思う」「同窓会設置についてお力になればと思う」など様々なご意見、お言葉をいただき参考にしたいと思います。本校にとって、「保護者との連携」「卒業生・社会人とのかかわり」が課題であります。同窓会の設置に向けて、卒業生との連絡体制を整えてまいります。そこから、同窓生同士の情報交換の機会、学校としても情報収集に活かしたいと思います。</p>
<p>【基準6】 教育環境</p>	<p>適切(100%)</p> <p>施設・設備等について、GDS教室のパソコンを老朽化のため入れ替えました。今後は「多様な性」への設備についても考えなければなりません。防災・安全管理について、2023年度はHANDBOOK（学生便覧）に「地震、火災発生時の行動、広域避難地、避難施設」を掲載し防災意識を高めました。2024年度初めに防災訓練の担任研修を行い、オリエンテーション等において全学生に対して避難訓練を実施しました。2024年8月に南海トラフ地震臨時情報が発表されたこともあり、常に防災意識を持たせたいと思います。各委員から全体的に「適切」の評価をいただきました。</p>
<p>【基準7】 学生の募集 と受け入れ</p>	<p>適切(100%)</p> <p>2024年度募集（2023年度に選考）の観光系学科は厳しい状況でした。専科は留学生の入国制限解除により回復し、2025年度募集（2024年度に選考）でも期待できそうです。各委員から全体的に「適切」の評価をいただきました。</p>

<p>【基準 8】 財務</p>	<p>適切(75%)・ほぼ適切(25%)</p> <p>委員から「財務基盤、費用対効果、新規開拓」についてのご意見をいただきました。2024年に通学圏外の学生、通信制高校出身生の取り込みを目的にオンラインコースを設置しました。新型コロナウイルス、留学生の入国制限など、社会・国際情勢により学生募集環境が安定しない状況下でも安定的な募集活動ができるような新規開拓分野を検討いたします。2024年度はITを活用し観光を総合的に学ぶ「観光総合学科」を設置します。今後の学生募集を視野に「大学の外国語学部生と本校の留学生との交流会」「高校への韓国語講座の出張授業」などを計画しています。最近の高校生はInstagram、YouTube、TikTokの利用頻度が高いため、学内の活動が見える素材をタイムリーに掲載し、さらなるフォロワー数を増やして学生募集の回復をはかります。</p>
<p>【基準 9】 法令等の遵守</p>	<p>適切(100%)</p> <p>法務に関する事項は、学園法務部が法令遵守についての総合的な管理にあっています。学校関係者評価委員からの指摘事項は真摯に受け止め改善してまいります。各委員からは全体的に「適切」の評価をいただきました。</p>
<p>【基準 10】 社会貢献・地域貢献</p>	<p>適切(25%)・ほぼ適切(75%)</p> <p>委員から「基準 10 について少し弱い印象があるので、改善に取り組んでほしい」「他校との共同ボランティアを視野に入れてはどうか」「新しいことへのチャレンジにより学園はさらに活性するものと思う」などご意見をいただきました。ご指摘の内容を真摯に受け止め取り組んでまいります。本校の施設を活用した社会貢献や地域貢献が物足りないと感じており、今後の課題といたします。寺内町内においては清掃活動を行っています。2025年度大阪・関西万博のボランティア募集が2024年1月に始まりました。専科（留学生）へ広報し20名程度の希望者がおり、面談、研修期間を経てボランティア活動をすることになります。ボランティア活動に携わった学生には単位認定します。今後も社会実習ボランティア活動による評価・単位認定が学生に十分周知されるようPRに努めます。</p>